

南部地区パレットスクール準備委員会

報告書

平成15年3月

## 目 次

ページ

1	南部地区パレットスクールの基本的枠組み	1
2	学校像、育てたい生徒像	2
3	教育課程の基本方針	2
4	総合学科の系列	3
5	設置教科・科目等	4
6	施設・設備	5
7	特長	6
	参考	6

### 資 料

1	南部地区パレットスクール準備委員会の審議経過	7
2	南部地区パレットスクール準備委員会専門部会の審議経過	7
3	新校準備委員会設置要綱	8
4	南部地区パレットスクール準備委員会委員名簿	10
5	南部地区パレットスクール準備委員会専門部会部会員名簿	11

## はじめに

県教育委員会は、平成13年3月に策定した「21世紀いきいきハイスクール推進計画」の中で、生徒数の減少を踏まえ、県立高校の活性化・特色化を図り、各学校をいきいきとさせていくため、県立高校の教育内容の充実を図るとともに、県立高校の再編整備を進めながら、彩りゆたかな高校づくりを推進する方向性を示しました。

この方針に基づき、平成14年1月には、平成15年度までに再編整備に着手する計画を「21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画」として策定しました。

この計画の中で、戸田高校、浦和商业高校定時制課程、与野高校定時制課程及び蕨高校定時制課程の統合により、南部地区パレットスクールを平成17年度に設置することが示されました。

これを受け、南部地区パレットスクール準備委員会は、専門部会に対し、教育内容の専門的な事項の検討を委ねながら、統合により設置される学校の基本的な枠組みなどについて、検討を進めてまいりました。

この報告は、その検討結果をとりまとめたものです。

## 1 南部地区パレットスクールの基本的枠組み

### (1) 南部地区パレットスクールの設置の目的

南部地区パレットスクールは、定時制教育に対する生徒の多様な学習ニーズに応えるとともに、弾力的な履修形態による高校教育の機会を提供するため、学ぶ意欲と熱意のある者が自らの学習スタイルに合わせていつでも学べる、昼夜開講の単位制による新しい発想の定時制高校として設置するものとする。

### (2) 南部地区パレットスクールの設置

南部地区パレットスクールは、戸田高校、浦和商业高校定時制課程、与野高校定時制課程及び蕨高校定時制課程を統合し、4校のこれまでの教育活動を踏まえた定時制高校として設置する。

### (3) 設置場所

戸田市大字新曾字稻荷1093番地（現戸田高校）に設置する。

### (4) 課程・学科

定時制課程の総合学科とする。

### (5) 部・授業時間数

ア 部（午前）・部（午後）・部（夜間）の三部制とする。

イ 部・部・部とも一日4単位時間、週当たり20単位時間を基本の授業時間数とする。

なお、生徒は他の部の科目履修により、20単位時間を超える授業時間数の取得も可能とする。

### (6) 修業年限

修業年限は4年を基本とする。ただし、他の部の科目履修などにより、3年で卒業することも可能とする。

### (7) 学校規模

部（午前）・部（午後）・部（夜間）ともに各年次80人、三部合わせ各年次240人、合計960人の規模を想定する。

### (8) 生徒募集

部（午前）・部（午後）・部（夜間）それぞれの部ごとに生徒募集を実施する。

### (9) 開校予定年度

平成17年度を開校予定とする。

## 2 学校像、育てたい生徒像

### (1) 学校像

学校像は、南部地区パレットスクールの設置の目的と再編整備対象校のこれまでの取組を踏まえ、次のとおりとした。

学ぶ意欲と熱意のある者がいつでも学べる学校  
生徒一人一人の個性・能力を伸長する学校  
柔軟な学習システムをもち、生徒の多様な学習ニーズに応える学校  
地域との連携を図り、地域に開かれた生涯学習機能を有する学校

### (2) 育てたい生徒像

育てたい生徒像は、学校像や再編整備対象校のこれまでの取組などを踏まえ、次のとおりとした。

基本的な生活習慣を確立し、他者とのふれあいや結びつきを通して、望ましい人間関係を築くことのできる生徒  
向上心や目的意識をもって学習に取り組み、個性や能力を発揮する生徒  
特別活動や体験的活動等に主体的に取り組む、創造性豊かな生徒

## 3 教育課程の基本方針

教育課程の基本方針は、南部地区パレットスクールの設置の目的、学校像、育てたい生徒像等を踏まえ、次のとおりとした。

なお、学期ごとの単位認定などが可能となる二学期制の導入については、今後新校の教育課程を編成する際に、検討するものとする。

基礎・基本を重視した教育課程を編成する。  
生徒の個性や進路希望に対応するため、多様な選択科目を設ける。  
教科・科目の学習を通して、基本的な資格取得を目指す。  
実務代替や大学入学資格検定等による学校外の学習の成果を単位認定する。  
ボランティアや就業体験等の体験的活動を取り入れる。  
ホームルーム活動や学校行事等の特別活動の充実を図る。  
コミュニケーション能力、問題解決能力の育成を図る。  
ガイダンスや教育相談機能を充実させる。  
地域の公共施設等を活かした教育活動を展開するとともに、地域住民の開設講座への参加を可能とする。  
柔軟な学習システムにより、修業年限の短縮(3年卒業)を可能とする。

## 4 総合学科の系列

### (1) 設置する系列

設置する系列は、「21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画」や再編整備対象校の学科等を踏まえ、次のとおりとした。

〔福祉に関する系列〕

〔商業に関する系列〕

〔人文社会に関する系列〕

〔自然科学に関する系列〕

### (2) 各系列の目標等

各系列の目標は、教育課程の基本方針にある、「基礎・基本を重視した教育課程を編成する」や各系列での学習を通して、期待される能力や態度などを踏まえ、次のとおりとした。

想定進路については、各系列の学習を通して、どのような分野への進路が想定されるかを示した。

系 列	目 標	想定進路
福祉に関する系列	福祉に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けさせ、思いやりや公共心を養い、福祉の増進に寄与する能力や態度を育てる。	福祉・家政系の大学、短大、専門学校への進学 福祉分野等への就職
商業に関する系列	商業に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けさせ、ビジネスの諸活動を主体的・創造的に行い、経済社会の発展に寄与する能力や態度を育てる。	経済・商業系の大学、短大への進学、商業実務・情報系の専門学校への進学 販売事務・サービス関連分野への就職
人文社会に関する系列	人文科学や社会科学に関する基礎的・基本的な知識を身に付けさせ、思考力を伸ばし、社会の諸現象に対し主体的に考える能力や態度を育てる。	人文・社会系の大学、短大、専門学校への進学 事務系・行政系分野への就職
自然科学に関する系列	自然科学に関する基礎的・基本的な知識を身に付けさせ、実験等を通して、数理的なものの方や考え方、科学的に探求する能力や態度を育てる。	理工系の大学、短大、専門学校への進学 製造業・技術系サービス分野への就職

## 5 設置教科・科目等

南部地区パレットスクールは、福祉に関する系列、商業に関する系列、人文社会に関する系列、自然科学に関する系列をもつ総合学科高校であり、これら4系列を踏まえ、教科・科目等の構成と設置する教科・科目等は、次のとおりとした。

### (1) 教科・科目等の構成

教科・科目等の構成は次のとおりである。

#### ア 教科・科目

- ・ 必履修科目      ・ 原則履修科目（総合学科）
- ・ 総合選択科目（系列に関する選択科目）      ・ 自由選択科目

#### イ 総合的な学習の時間

#### ウ ホームルーム活動

### (2) 設置する教科・科目等

設置する教科・科目の例は、次のとおりとした。設置する教科・科目の例は、平成11年3月告示の高等学校学習指導要領に基づき設定した。今後、この例を参考に教育課程を編成する。

なお、国語、数学、理科、外国語の必履修科目は、特に基礎的な内容、指導の工夫をするものとする。

#### ア 学習指導要領に示された必履修科目

教科	科 目
国 語	国語表現 及び国語総合のうちから1科目
地理歴史	世界史A及び世界史Bのうちから1科目並びに日本史A、日本史B、地理A及び地理Bのうちから1科目
公 民	現代社会又は倫理・政治・経済
数 学	数学基礎及び数学 のうちから1科目
理 科	理科基礎、理科総合A、理科総合B、物理 、化学 、生物 及び地学 のうちから2科目（理科基礎、理科総合A及び理科総合Bのうちから1科目以上を含むものとする）
保健体育	体育及び保健
芸 術	音楽 、美術 、工芸 及び書道 のうちから1科目
外国語	オーラル・コミュニケーション 及び英語 のうちから1科目
家庭	家庭基礎、家庭総合及び生活技術のうちから1科目
情報	情報A、情報B及び情報Cのうちから1科目

#### イ 原則履修科目

「産業社会と人間」を1年次に履修する。

## ウ 総合選択科目の例

### 福祉に関する系列

社会福祉基礎 家庭看護・福祉 家庭総合 基礎介護 社会福祉援助技術  
福祉関係の学校設定科目など

### 商業に関する系列

ビジネス基礎 情報処理 簿記 商業技術 総合実践 商品と流通 英語実務  
商業関係の学校設定科目など

### 人文社会に関する系列

現代文 古典講読 異文化理解 生活英語 日本史に関する学校設定科目  
世界史に関する学校設定科目 地域に関する学校設定科目など

### 自然科学に関する系列

数学A 数学 数学C 数学に関する学校設定科目 物理 化学 生物  
地学 理科に関する学校設定科目など

## エ 自由選択科目の例

教 科	科 目
国 語	国語表現 現代文 古典
地理歴史	世界史B 日本史B 地理B
公 民	政治・経済 倫理
数 学	数学 数学B
理 科	物理 化学 地学 生物
体 育	スポーツ スポーツ
芸 術	音楽 美術 書道
外 国 語	英語 リーディング

必履修科目や総合選択科目の設置科目等により、自由選択科目も変わるものとする。

## オ 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間においては、地域や学校、生徒の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習を行う。

## 6 施設・設備

施設・設備については、教育課程の基本方針や設置教科・科目等の検討結果を踏まえ、既存施設・設備の有効活用を基本に、必要な施設・設備の計画的な整備に努めることとする。

## 7 特 長

南部地区パレットスクールの主な特長は、次のとおりである。

学ぶ意欲と熱意のある者がいつでも学べる昼夜開講の三部制とする。  
修業年限は4年を基本とするが、他の部の科目履修などにより3年で卒業することも可能とする。  
普通科目と専門科目にわたる幅広い選択科目の中から科目を選択する総合学科で、本県の定時制の課程に初めて設置する。  
地域住民の開設講座への参加を可能とし、地域の方々に生涯学習の機会を提供する。

## 参 考

再編整備対象校の現行の学科、募集人員と新校設置時の学科、想定募集人員は、次のとおりである。

現 行 (平成14年度)			新校設置時 (平成17年度)		
学 校 名	学 科	募集人員	新校のタイプ	学 科	想定募集人員
戸 田	普通科	240	南部地区パレット トスクール	総合学科	部 80
浦和商业(定)	商業科	40			部 80
与野(定)	商業科	40			部 80
蕨(定)	普通科	40			

### 南部地区パレットスクール準備委員会の審議経過

開催年月日	審議内容
平成14年 2月20日	第1回(他地区と合同) <ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀いきいきハイスクール推進計画及び21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画の概要</li> <li>・新校準備委員会及び専門部会</li> <li>・検討事項及び検討日程</li> </ul>
平成14年 4月18日	第2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校像、育てたい生徒像</li> </ul>
平成14年 7月15日	第3回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校像、育てたい生徒像</li> <li>・総合学科の系列の方向性</li> <li>・教育課程の基本方針</li> </ul>
平成14年10月18日	第4回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定募集人員</li> <li>・系列の目標、想定進路</li> <li>・「中間まとめ」</li> </ul>
平成15年 1月30日	第5回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中間まとめ」に対する主な御意見</li> <li>・設置教科・科目等</li> <li>・生徒募集</li> <li>・施設・設備</li> </ul>
平成15年 3月14日	第6回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地区パレットスクール準備委員会報告書</li> </ul>

### 南部地区パレットスクール準備委員会専門部会の審議経過

開催年月日	審議内容
平成14年 2月20日	第1回(他地区と合同) <ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画の概要</li> <li>・新校準備委員会及び専門部会</li> <li>・検討事項及び検討日程</li> <li>・第2回新校準備委員会専門部会</li> </ul>
平成14年 4月30日	第2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校像、育てたい生徒像</li> </ul>
平成14年 6月 4日	第3回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校像、育てたい生徒像</li> <li>・新校に活かしていくことが適当だと考えられる再編整備対象校の取組等</li> </ul>
平成14年 7月 2日	第4回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科の系列の方向性</li> <li>・教育課程の基本方針</li> </ul>
平成14年 9月18日	第5回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼夜開講の形態</li> <li>・系列の目標、想定進路及び資格・検定</li> </ul>
平成14年10月15日	第6回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定募集人員</li> <li>・設置教科・科目等</li> </ul>
平成15年 1月15日	第7回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の基本方針の追加</li> <li>・生徒募集</li> <li>・施設・設備</li> <li>・「中間まとめ」に対する主な御意見</li> </ul>

## 新校準備委員会設置要綱

### (設置)

第1条 「21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画」(以下「再編整備計画」という。)の円滑な推進を図るため、再編整備計画に基づき新たに設置される高校(以下「新校」という。)ごとに、別表1に定める新校準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について所掌する。

- (1) 新校の基本的枠組み、教育課程及び教育内容に関すること。
- (2) 新校への移行の円滑な推進に関すること。
- (3) その他新校の設置に関すること。

### (構成)

第3条 委員会は、別表2に掲げる者をもって構成する。

- 2 委員会の構成員(以下「委員」という。)は、教育長が委嘱または任命する。
- 3 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任する。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

### (会議)

第4条 委員長は、委員会の会議を招集し、主宰する。

- 2 委員長は必要に応じて、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

### (会議の公開)

第5条 委員会の会議は、原則として公開とする。ただし、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

### (設置期間)

第6条 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から平成15年3月31日までとする。

### (専門部会)

第7条 委員会に、専門的事項を調査検討するため、専門部会を置く。

- 2 専門部会は、部会長及び部会員で構成し、別表3に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 部会長は、部会員の中から、委員会の委員長が指名する職にある者をもって充て、専門部会を統括する。
- 4 部会長は、専門部会の会議を招集し、主宰する。
- 5 部会長は、必要に応じて、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 6 専門部会は、原則として公開とする。ただし、出席した部会員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

### (庶務)

第8条 委員会及び専門部会の庶務は、教育局管理部高校改革推進室長において処理する。

### (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会及び専門部会の運営について必要な事項は委員長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成14年2月19日から施行する。

### 附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

別表 1

## 新校準備委員会

	再編整備対象校
比企地区総合学科高校準備委員会	滑川高校 吉見高校
秩父地区総合技術高校準備委員会	秩父農工高校 秩父東高校
行田地区総合高校準備委員会	行田進修館高校 行田工業高校 行田女子高校
南部地区パレットスクール準備委員会	戸田高校 浦和商业高校(定) 与野高校(定) 蕨高校(定)

別表 2

## 新校準備委員会委員

地元関係者	地元市町代表 地元教育委員会代表 地元関係者
学校関係者	中学校長会地区代表 再編整備対象高校長
教育局	管理部参事 高校改革推進室長

別表 3

## 専門部会

所属課等	部会員
再編整備対象校	校長 教頭 事務長又は事務室長(新校設置校) 校長の指定する教諭(各校1名)
財務課	教育主幹 高等学校施設担当主査
高校教育課	教員人事担当管理主事 学事担当管理主事 事務職員人事担当主査
指導課	指導主事 振興助成担当主査
高校改革推進室長	室長 主幹 教育主幹 管理主事 主査 主任

南部地区パレットスクール準備委員会委員名簿

	職名等	氏名	備考
地元・学校 関係者	戸田市助役	日中健機智	
	戸田市教育委員会教育長	岡村政彦	H14.2.20 ~ H15.1.31
	戸田市教育委員会教育長	伊藤良一	H15.3.1 ~ H15.3.31
	さいたま市教育委員会教育長	臼杵信裕	
	蕨市教育委員会教育長	安田正信	
	(有)高橋建材代表取締役	高橋英雄	
	川口市立幸並中学校長	石田孝作	H14.2.20 ~ H14.3.31
	蕨市立第二中学校長	秋山亜輝男	H14.4.1 ~ H15.3.31
	戸田高等学校長	柏浦勝良	
	浦和商业高等学校長	小山久夫	H14.2.20 ~ H14.3.31
	浦和商业高等学校長	越谷明	H14.4.1 ~ H15.3.31
	与野高等学校長	石川勝利	H14.2.20 ~ H14.3.31
	与野高等学校長	吉沢優	H14.4.1 ~ H15.3.31
	蕨高等学校長	内田雅彦	H14.2.20 ~ H14.3.31
	蕨高等学校長	坂巻守男	H14.4.1 ~ H15.3.31
教育局 関係者	指導部長	森正博	H14.2.20 ~ H14.3.31
	管理部参事	朝倉恒夫	H14.4.1 ~ H15.3.31
	高校改革推進室長	前島富雄	H14.2.20 ~ H14.3.31
	高校改革推進室長	真下茂	H14.4.1 ~ H15.3.31

委員の任期は、平成14年2月20日から平成15年3月31日までである。

南部地区パレットスクール準備委員会専門部会部会員名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
戸田高等学校	校 長	柏 浦 勝 良	
戸田高等学校	教 頭	古 谷 謙 明	
戸田高等学校	事務長	阿 部 博	
戸田高等学校	教 諭	田 中 猛	H14.2.20 ~ H14.3.31
戸田高等学校	教 諭	長谷川 仁	H14.4. 1 ~ H15.3.31
浦和商业高等学校	校 長	小 山 久 夫	H14.2.20 ~ H14.3.31
浦和商业高等学校	校 長	越 谷 明	H14.4. 1 ~ H15.3.31
浦和商业高等学校(定)	教 頭	諸 井 俊 夫	
与野高等学校	校 長	石 川 勝 利	H14.2.20 ~ H14.3.31
与野高等学校	校 長	吉 沢 優	H14.4. 1 ~ H15.3.31
与野高等学校(定)	教 頭	鎌 田 恭 人	
与野高等学校(定)	教 諭	畑 井 喜四郎	
蕨高等学校	校 長	内 田 雅 彦	H14.2.20 ~ H14.3.31
蕨高等学校	校 長	坂 卷 守 男	H14.4. 1 ~ H15.3.31
蕨高等学校(定)	教 頭	渡 辺 洋 一	H14.2.20 ~ H14.3.31
蕨高等学校(定)	教 頭	吉 敷 茂	H14.4. 1 ~ H15.3.31
蕨高等学校(定)	教 諭	岩 崎 剛 久	
財 務 課	教育主幹	岡 村 和 典	H14.4. 1 ~ H15.3.31
財 務 課	主 査	吉 田 浩 士	
高 校 教 育 課	管理主事兼主査	渡 邊 亮	
高 校 教 育 課	管理主事兼主査	高 田 直 芳	
高 校 教 育 課	主 査	橋 本 強	
指 導 課	専門調査員兼指導主事	関 根 均	H14.2.20 ~ H14.3.31
指 導 課	指導主事	鶴 巻 一 郎	H14.4. 1 ~ H15.3.31
指 導 課	主 査	志 村 進	
高校改革推進室長	室 長	前 島 富 雄	H14.2.20 ~ H14.3.31
高校改革推進室長	室 長	真 下 茂	H14.4. 1 ~ H15.3.31
高校改革推進室長	管理部副参事兼主幹	長谷川 清 司	H14.4. 1 ~ H15.3.31
高校改革推進室長	主任管理主事兼教育主幹	高 橋 丘	H14.2.20 ~ H14.3.31
高校改革推進室長	教育主幹	塩野谷 孝 志	H14.2.20 ~ H14.3.31
高校改革推進室長	教育主幹	井 田 秀 夫	H14.4. 1 ~ H15.3.31
高校改革推進室長	管理主事	河原塚 努	H14.2.20 ~ H14.3.31
高校改革推進室長	管理主事	吉 岡 秀 樹	
高校改革推進室長	管理主事	森 一 夫	H14.4. 1 ~ H15.3.31
高校改革推進室長	主 査	小 林 裕 一	
高校改革推進室長	主 任	渡 辺 悟	H14.4. 1 ~ H15.3.31

部会員の任期は、平成14年2月20日から平成15年3月31日までである。